

第1回千葉市新基本計画審議会第2部会における意見への対応の方向性  
 (「健康・福祉」、「地域社会」)

No.	分類	分野	政策	施策	頁	該当箇所	意見及び対案	委員	対応の方向性	原案の修正案(たたき台)
1	事前意見	健康・福祉			19		分野目標の文章にwell being (あるいはウエルビーイング) を追加してはどうか。  【理由】 分野目標を(みんながいきいきと、健やかに安心して暮らせるまちを目指します)としているが、それを支える政策や施策の柱との関係がwell beingとの関係でみえにくいため。	菊地委員	ご意見の趣旨を踏まえ、記述を検討します。	【P19 分野3 分野目標】 ・誰もが健康で活躍できる社会の構築は、市民一人ひとりが肉体的・精神的にだけでなく、社会的にも満たされた状態とするためであるととも、人口減少や少子高齢化が進展する中でも地域社会・地域経済が持続的に活性化していくうえで重要です。
2	当日意見	健康・福祉	1		20		千葉市と連携し、地域包括ケアや休日救急診療、夜間応急診療の充実に取り組んでいる。 連携について非常に多くのご意見が出ているが、歯科医師会では、関係団体と連携するとともに、障害者、高齢者に関係する多職種連携会議を各区で実施している。 また、2つの市立病院とも常に連携していることから、千葉市は医療・障害者の機関との連携ができていと感じている。	斉藤委員		
3	当日意見	健康・福祉	1		20		子どもに対する0歳からの健診や、40歳という節目の歳を対象とした健診など、健診の充実も図っている。 また、千葉市の先駆的な取組みとして、口腔がん検診を実施しているが、自治会の回覧板に掲載することで申し込みが一気に増えるということもあるため、自治会との連携も一層進めていきたいと考えている。 加えて、総合保健医療センターにおいて、認知症や障害者の患者さんへの歯科治療を行っているが、千葉県内で実施しているのは千葉市と船橋市だけであるため、そういった意味でも千葉市は非常に医療が充実していると思うので、引き続き取り組んでいただくとともに、上手く周知していただきたい。	斉藤委員	関係機関と連携のうえ、引き続き、取り組んでまいります。	
4	事前意見	健康・福祉	1	1	20		・健康に関する意識の向上や、健康づくりに取り組みやすい環境の整備により、市民の生活習慣の見直しを促進し、健康づくりを後押しします。  施策1は、これまでの取り組みに加えて、予防医療のためのプッシュ戦略を積極的に取り入れていくという趣旨か。	菊地委員	ご指摘のとおり、これまでも特定健診結果に基づく生活習慣病等重症化予防のための取組みや、「あなたが使える制度お知らせサービス」を活用した、特定健診・がん検診に関するお知らせなどを実施しているところであり、今後も取組みを進めてまいります	
5	当日意見	健康・福祉	1	1	20		・パーソナルヘルスレコードを活用した健康施策の推進 ・健康づくりの推進に向けた新たな取組みの検討(ナッジなど)  「パーソナルヘルスレコード」や「ナッジ」について、脚注にて説明されているが、具体的な取組みのイメージが湧かないため、補足等が必要ではないか。	角田委員	ご意見を踏まえ、脚注において具体的な取組みを例示するなどして、分かりやすい記述を検討します。	【P20 分野3 政策1 施策2 脚注】 パーソナルヘルスレコード：乳幼児健診やがん検診などの生涯にわたる個人の健(検)診結果や服薬履歴等の健康情報を、電子記録として、本人や家族が正確に把握するための仕組み。 ナッジ：行動科学の知見から、自発的に自身にとってより良い選択を取れるように手助けする手法のこと。例えば、健(検)診の勧奨はがきに「およそ8割の方が受けています！」などと記載することで、行動を起こすためにそっと後押しする工夫のこと。

第1回千葉市新基本計画審議会第2部会における意見への対応の方向性  
 (「健康・福祉」、「地域社会」)

No.	分類	分野	政策	施策	頁	該当箇所	意見及び対案	委員	対応の方向性	原案の修正案(たたき台)
6	当日意見	健康・福祉	1	1	20	・介護予防の促進	「介護予防の促進」について、政策2にも再掲されており大事な取組みかと思うが、分かりやすい具体例を記載した方が伝わりやすいのではないかと。	角田委員	ご意見を踏まえ、取組みの例示を記述します。なお、具体的な取組みについては、実施計画等において検討してまいります。	【P20 分野3 政策1 施策1 主な取組み】 ・介護予防の促進 <u>(重度化防止、生きがいつくりなど)</u>
7	事前意見	健康・福祉	1	2	20	・かかりつけ医の普及・啓発や、オンライン診療・服薬指導の促進～  主な取組み ・かかりつけ医の普及・啓発	医療対体制の充実について、かかりつけ薬剤師の要素を取り入れた表現とすべきではないかと。 【修正案】 かかりつけ医・ <u>かかりつけ薬剤師</u> の普及・啓発や～主な取組み ・かかりつけ医・ <u>かかりつけ薬剤師</u> の普及・啓発  【理由】 厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会において、かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師について議論され、地域包括ケアシステム構築のためにかかりつけ医とかかりつけ薬局・薬剤師は不可欠とされているため。	市橋委員	ご意見の趣旨を踏まえ、かかりつけ薬剤師に関する記述を検討します。	【P20 分野3 政策1 施策2】 ＜リード文＞ ・かかりつけ医、 <u>かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局</u> などの普及・啓発や、オンライン診療・服薬指導の促進～  ＜主な取組み＞ ・かかりつけ医 <u>など</u> の普及・啓発
8	当日意見	健康・福祉	1	2	20	・かかりつけ医の普及・啓発や、オンライン診療・服薬指導の促進～  主な取組み ・かかりつけ医の普及・啓発	かかりつけ薬剤師の記載に関する事前意見を提出したが、医療提供体制という面から見ると、かかりつけ薬局という記載でも良いと思うので、併せて検討いただきたい。 また、かかりつけ医を持っていない方への対応について、薬局では、一度でも薬を処方したことがある方については、薬局から直接、薬をお届けする対応もしていたため、かかりつけ医と併せて、健康な方にも対応できるようにしていけると良いのではないかと。	市橋委員	また、ご意見のとおり、健康な方もかかりつけ医を持つことは重要であると認識しております。具体的な取組みについては、実施計画等において検討してまいります。	
9	当日意見	健康・福祉	1	2	20	・かかりつけ医の普及・啓発	「かかりつけ医の普及・啓発」について、新型コロナウイルスワクチンの接種においては、かかりつけ医での接種が推奨されていたが、健康診断や予防接種でしか医療機関を受診しない健康な方はかかりつけ医がなく、受け付けてもらえないケースが多かった。 健康な方がかかりつけ医を持つことも重要だと思っておりますので、かかりつけ医の定義をしっかりといただきたい。	鏑木委員		
10	当日意見	健康・福祉	1	2	20	・市立病院の医療提供体制の整備と経営基盤の強化	医療提供体制の整備について、24時間体制で医療の空白をなくすということで、現在、千葉市は夜間応急診療と休日救急診療を運営しているが、千葉市にとって目玉の施策だと考えるので、今後も継続していただきたい。	市橋委員	ご意見のとおり、市民が夜間・休日を問わず医療を受けられる環境は、市民の安全・安心な生活を守る上で重要であると認識しております。関係機関のご協力を得ながら、引き続き、取り組んでまいります。	-
11	事前意見	健康・福祉	1	3	21	墓地・斎園環境の整備	これから一層の「少子多死社会」を迎えるため、重要なインフラであるという点を補足してはどうか。	菊地委員	ご意見の趣旨を踏まえ、記載を検討します。	【P21 分野3 政策1 施策3 リード文】 ・ <u>今後さらに進展していく少子高齢化による需要の変化に対応するため、墓地・斎園環境の整備を推進します。</u>

第1回千葉市新基本計画審議会第2部会における意見への対応の方向性  
 (「健康・福祉」、「地域社会」)

No.	分類	分野	政策	施策	頁	該当箇所	意見及び対案	委員	対応の方向性	原案の修正案(たたき台)
12	当日意見	健康・福祉	2	1	22	施策1 生きがいつくりと社会参加の促進	「生きがいつくりと社会参加の促進」について、主な取り組みを見ると学ぶことを念頭に置いていると思うが、高齢者の方がこれまで培ってきた経験やノウハウを、子どもや若い世代に伝える機会の提供といった取り組みも必要ではないか。 自身のノウハウを発信する機会や場があることも健康福祉に資すると思うので、学習の機会だけではなく、発信の機会も記載されると良いのではないか。	梅澤委員	ご意見のとおり、高齢者の方が培ってきた経験やノウハウを次世代に伝えていくことは、高齢者の健康福祉の面だけでなく、地域社会の交流を進める上でも重要であると認識しております。 ご意見を踏まえ、記述を検討します。	【P22 分野3 政策2 施策1 リード文】 ・高齢者が自らの意思・希望に基づき、就労や地域活動の担い手などとして活躍するための学びの場や、これまで培ってきた経験やノウハウを継承する機会を提供するなど、生涯にわたって元気でいきいきと活躍できる環境を整備します。
13	当日意見	健康・福祉	2	1	22	・高齢者の社会参画に係る支援体制の充実	主な取り組みの「高齢者の社会参画に係る支援体制の充実」について、非常に漠然としていると感じる。老人クラブ連合会の会長として見ると、高齢者が増えるに従って活動が低下し、会員が減っていくという実態がある。これは、社会体制の変化などによって、みんなが集まらず、個々で生活していくといったイデオロギーによるものと思っている。 「支援体制の充実」の詳細が分からないが、老人会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、自治会といった組織に、どこまで高齢者が参画することを意識しているのかを明確にしていきたい。例えば、老人クラブがない地域もあり、そのような地域では民生委員や自治会などから促すという方法もあると思うが、そのような体制づくりの部分が見えないところは、残念を感じる。	和田委員	ご意見のとおり、高齢者の方が活動する場や、様々な団体が連携し、地域活動に参画していくことは重要であると認識しております。 持続可能なまちづくりの推進においては、高齢者を含む多様な主体の参画が必要であると考えているため、分野5地域社会の政策2施策1において、「持続可能な地域活動に向けた支援」を位置付けているところです。 具体的な取り組みについては、実施計画等において検討してまいります。	-
14	事前意見	健康・福祉	2	1	22	・地域や社会に役立つ講座など学習機会の提供(高齢者へのICT活用講座など)	「地域や社会に役立つ講座など学習機会の提供(高齢者へのICT活用講座など)」は、やや行政寄りの視点のような印象を受ける。基本的には本人の生きがいつくりであり、結果として地域や社会に役立つものであると、なおさらよいということではないか。	菊地委員	ご意見のとおり、高齢者が自らの意思・希望によって、元気でいきいきと活躍することが重要です。記述を検討します。	【P22 分野3 政策2 施策1】 <リード文> ・高齢者が自らの意思・希望に基づき、就労や地域活動の担い手などとして活躍するための学びの場や、これまで培ってきた経験やノウハウを継承する機会を提供するなど、生涯にわたって元気でいきいきと活躍できる環境を整備します。
15	当日意見	健康・福祉	2	1	22	・地域や社会に役立つ講座など学習機会の提供(高齢者へのICT活用講座など)	菊地委員の事前意見のとおり、「地域や社会に役立つ講座など学習機会の提供」は社会や行政の観点からの表現となっており、「地域や社会に役立つ」ことに限られている。 個人の観点から「生活や地域に役立つ講座」などの例示の方がバランスが良いのではないか。	岩崎部会長	ご意見のとおり、高齢者が自らの意思・希望によって、元気でいきいきと活躍することが重要です。記述を検討します。	<主な取り組み> ・学びを生活や地域・社会に活かせる学習機会の提供(高齢者へのICT活用講座など)

第1回千葉市新基本計画審議会第2部会における意見への対応の方向性  
 (「健康・福祉」、「地域社会」)

No.	分類	分野	政策	施策	頁	該当箇所	意見及び対案	委員	対応の方向性	原案の修正案(たたき台)
16	当日意見	健康・福祉	2	2	22	・あんしんケアセンター機能の強化	支援が必要な方を発見し、あんしんケアセンターや行政に繋ぐという民生委員の活動において、あんしんケアセンターは非常に頼りになる存在である。あんしんケアセンターの方からは、圏域が非常に広く活動が大変であり、丁寧な対応が難しい反面、圏域が狭くなると、報酬の面などから運営が厳しいという悩みを聞く。そのため、ぜひ、あんしんケアセンターへの支援の充実を検討していただきたい。	鏡木委員	あんしんケアセンターの支援体制や担当圏域については、福祉部門の個別計画である「千葉市保健福祉推進計画」に明記し、審議会等において継続的に検討しております。なお、担当圏域については、高齢者人口や広さ、地域の成り立ちなどを考慮して設定し、高齢者人口等に応じた職員数を配置しております。引き続き、高齢者の身近な相談窓口として、多くの市民に活用していただけるよう、あんしんケアセンター運営について支援してまいります。	-
17	当日意見	健康・福祉	2	2	22	・あんしんケアセンター機能の強化	あんしんケアセンターについて、運営法人の公募にあたって、法人側が設置場所も含めて検討しなければならないため、本当に必要な地域に設置できているのか、疑問に感じる。あんしんケアセンターの数は増えているが、必要な場所がないと有効な活動ができないという問題があると思われる。制度が始まって数年が経過するため、本当に必要な地域に設置できるような公募の手法を検討していただきたい。	長岡副部長	平成18年度より設置を開始したあんしんケアセンターについては、公正・中立性を考慮し、現在、5年ごとの公募にて運営法人を選定しております。センターの設置場所については、応募法人による提案方式としておりますが、市民に身近なセンターとして機能するためには、利便性や視認性は重要であることから、本市から利便性の高い地域を提示したうえで、法人からの提案を受けております。	-
18	当日意見	健康・福祉	2	2	22	・地域住民や地域団体による支え合い活動の促進	「地域住民や地域団体による支え合い活動の促進」について、集まる場所が必要だと思う。地域によっては、集まる場所がなく、老人クラブなどの活動ができない状態である。また、支え合い活動というのは、特定の団体内だけでやれば良いのではなく、地域の様々な団体と交流することで、人間的な繋がりができ、支え合いに繋がっていくと思う。そのため、活動にあたっては場所の問題が非常に重要だが、千葉市は公共施設の見直しを進めており、役割を終えたなどの理由で廃止の方向に向かっている。この流れは活動する場所が必要という視点が欠けていると思うので、検討をお願いしたい。	長岡副部長	ご意見のとおり、団体が活動する場所を確保することは重要な課題として認識しておりますので、既存ストックの活用などにより、活動スペースの確保に努めてまいります。	-
19	当日意見	健康・福祉	2	2	22		超高齢化社会に伴い多死社会を迎える中で、本人の意思を尊重した、人生の最終段階における医療ケアの充実を図ることが重要になる。そのためには、本人の意思が尊重されるよう、アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)に対する理解を、市民に深めてもらうことが必要である。また、市民への啓発活動と並行して、人生の最終段階における医療・ケアチームの意思決定の際に、本人や家族等の思いを聴く相談員の存在も必要であるため、相談員の育成を計画に入れることができるとよいと思う。	下河原委員	ご意見のとおり、人生の最終段階において、本人の意思が尊重されることは重要であると認識しておりますので、記述を検討します。また、併せて相談員の育成に取り組んでいく必要があると認識しておりますので、実施計画等において検討してまいります。	【P22 分野3 政策2 施策2】 <リード文> ・ <u>高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう</u> 、相談体制の強化、生活支援体制の充実、医療介護専門職による多職種連携のさらなる推進などにより、医療・介護・予防・住まいに関する生活の支援が、 <u>本人の意思に基づいて、切れ目なく提供される体制</u> (地域包括ケアシステム)の構築・強化を進めます。 <主な取組み> ・ <u>終末期医療等に関する普及・啓発</u> ・ <u>患者の意思決定支援に係る医療・介護専門職員の育成</u>

第1回千葉市新基本計画審議会第2部会における意見への対応の方向性  
 (「健康・福祉」、「地域社会」)

No.	分類	分野	政策	施策	頁	該当箇所	意見及び対案	委員	対応の方向性	原案の修正案(たたき台)
20	事前意見	健康・福祉	2	4	23		多分に国の制度の今後の行方に左右される内容であるため、国の動向を見極めつつ、将来多くの自治体が直面するであろう介護人材の確保難に向け、独自の取り組みがあれば記述してはどうか。	菊地委員	ご意見のとおり、国の動向等を注視しながら進めていく必要があると認識しており、現在は、介護に関する資格取得に向けた研修受講費用の補助や、市内介護事業者を対象とした合同就職説明会の開催などに取り組んでいます。今後も、本市の実情に沿った具体的な取り組みについて、実施計画等において検討してまいります。	-
21	当日意見	健康・福祉	3		24		あんしんケアセンターや障害者基幹相談支援センターなどはすでに様々な部分で連携しており、あんしんケアセンターや民生委員が、高齢者の方を訪問した際に、障害を持つお子さんがいたという話もよく耳にする。様々な機関の連携についても、文言として入れていただきたい。	成田委員	ご意見のとおり、誰もが安心して自分らしく生活できる共生社会を実現するためには、様々な機関との連携が重要であると認識しております。また、障害者基幹相談支援センターは、障害者相談支援の中核的な役割を担う機関として設置されたものであり、障害者が地域で安心して暮らせる環境を整備するうえで、重要な役割を果たす機関であると認識しております。ご意見を踏まえ、政策3施策2において、障害以外の分野との連携及び機関名の記述を検討します。	【P24 分野3 政策3 施策2 主な取り組み】 ・ <u>障害者基幹相談支援センターを中心とした相談支援体制の充実及び関係機関との連携強化</u>
22	当日意見	健康・福祉	3	2	24		昨年10月から全区で開設された「障害者基幹相談支援センター」について、今後、障害者に対する支援の要となる機関であると思うため、施設名の記載を検討いただきたい。	成田委員		
23	当日意見	健康・福祉	3		24		障害を持っている方が外出する時に、一番気になるのがトイレと駐車場である。 トイレについて、「誰でもトイレ」という名前のトイレがある。これは、どんな障害があっても使って良いというものだが、全ての人が使えらるトイレだと間違った認識を持ち、使用されている場合が多く見られる。 また、各施設の多目的トイレを適切に管理していただくとともに、多目的トイレの位置を分かりやすく周知していただきたい。 駐車場については、現在、車椅子マークのステッカーが100円ショップで買うことができ、健常者の方が悪用している事例もある。 そのため、千葉県では今年7月からパーキングパーミット制度を始めたが、周知がなされておらず普及していないため、しっかり説明をして、普及していただきたい。	高山委員	ご意見のとおり、共生社会の実現を図るうえで、障害に対する市民の理解を深めることは重要であると認識しており、政策3施策1の主な取り組みに「障害のある方への理解の促進」を位置付けております。また、駐車場などハード面のバリアフリー化については、障害のある方が不自由なく社会に出ていくために重要であると認識しております。そのため、「7都市・交通」の政策2施策3にハード面のバリアフリー化を位置付けておりますので、併せて、実施計画等において検討してまいります。	-
24	当日意見	健康・福祉	3	1	24	障害の有無に関わらず、～障害者の社会参加の促進や、障害のある子どもとその家族への支援の充実など、 <u>社会のバリアフリー化を推進します。</u>	政策3の説明文の「バリアフリー化を推進します」について、施策を見るとソフト面を念頭に置いているとの印象を受ける。 ハード面の整備が進んでいると感じるが、障害者が一人で社会に出ていけるような環境づくりの観点から、継続的にハード面のバリアフリー化にも取り組む視点を追加してはどうか。	添田委員		

第1回千葉市新基本計画審議会第2部会における意見への対応の方向性  
 (「健康・福祉」、「地域社会」)

No.	分類	分野	政策	施策	頁	該当箇所	意見及び対案	委員	対応の方向性	原案の修正案(たたき台)
25	当日意見	健康・福祉	3	1	24	・障害のある方への理解の促進 (福祉講話の拡充、ヘルプマーク等の普及啓発、障害者アスリートの学校訪問など)	「障害者アスリートの学校訪問」に関わらせていただいているが、共生社会の実現に向けて、体験の次の段階に進めていく必要があるのではないかと感じている。 今後、具体的な事業を検討する際には、ぜひ、我々パラアスリートの意見もヒアリングしながら、検討していただきたい。	添田委員	ご意見を踏まえ、実施計画等において事業を検討するにあたり、参考とさせていただきます。	-
26	事前意見	健康・福祉	3	1	24	農福連携の促進	伝福連携という言葉もあるように、作業工程の細分化やモジュール化により就労(支援)を通じた社会参画が広がっているため、農福連携のみが挙げられていることに異論が出るのではないかと。	菊地委員	ご意見のとおり、様々な連携の可能性を見据え、農福連携に限定しない表現となるよう、記述を検討します。	【P24 分野3 政策3 施策1 脚注】 ・農福連携：障害者や高齢者などが農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組み。 <u>近年では、農業分野に限らず、伝統産業分野など他の分野においても広がりを見せている。</u>
27	事前意見	健康・福祉	3	3	25		少子化の裏側で医療の発達により、重症心身障害児や医療的ケア児が増加し、療養支援体制の充実が過去に比べて一層求められているという現状や背景の説明が必要ではないかと。	菊地委員	基本計画においては長期的な取組みの方向性を示しており、個別の取組みの背景を記載することは困難ですが、ご指摘いただいた現状や課題が重要であると認識していることから、それらを踏まえ、主な取組みとして「療育支援体制の充実」を位置付けているところです。 ご指摘いただいた現状や背景については、実施計画等において丁寧な記載を検討してまいります。	-
28	事前意見	健康・福祉	3	3	25	療育支援体制の充実や、発達障害の早期診断・早期支援などにより、ライフステージに応じた支援を受け、地域で安心して暮らすことができる環境を整備します。	「発達障害」に知的障害も含まれる注釈をつけるか、「発達・知的障害」と併記してほしい。  【理由】 ここでいう「発達障害」の概念には、「知的障害」も含まれると思うが、一般的な理解としては別のグループという捉え方もあるため。	成田委員	施策3については、障害の種類や程度にかかわらず、障害をもつ子どもとその家族への支援の充実を図るものですので、特定の障害に限定しない表現に修正します。	【P25 分野3 政策3 施策3】 <リード文> ・療育支援体制の充実や、 <u>発達障害</u> の早期診断・早期支援などにより、ライフステージに応じた支援を受け、地域で安心して暮らすことができる環境を整備します。  <主な取組み> ・幼少期から成人期までのライフステージに応じた <u>切れ目のない発達障害</u> の支援の推進
29	事前意見	健康・福祉	3	3	25	幼少期から成人期までのライフステージに応じた発達障害の支援の推進	「幼少期から成人期までのライフステージに応じた <u>切れ目のない</u> 発達障害の支援の推進」と、「切れ目のない」文言追加を検討してほしい。  【理由】 幼少期から成人期では幼・小・中・高と、環境が変わる人が多い。そのところどころでの引き継ぎが重要になってくるため。	成田委員	ご意見のとおり、ライフステージにおいて切れ目のない支援が必要であると認識していますので、記述を検討します。	【P25 分野3 政策3 施策3 主な取組み】 ・幼少期から成人期までのライフステージに応じた <u>切れ目のない発達障害</u> の支援の推進

第1回千葉市新基本計画審議会第2部会における意見への対応の方向性  
 (「健康・福祉」、「地域社会」)

No.	分類	分野	政策	施策	頁	該当箇所	意見及び対案	委員	対応の方向性	原案の修正案(たたき台)
30	当日意見	地域社会			34	・そのため、市民に根付いた懐の深さを存分に発揮し、多様性を活かしたインクルーシブなまちづくりに取り組むとともに、地域・企業・団体・大学・行政など多様な主体による連携を強化することが必要です。	分野目標の、「多様な主体による連携強化」という部分に期待している。 現在、新庁舎の建設が進んでおり、市民としても非常に楽しみにしている。市役所が、様々な立場で活動している方たちの情報の集積地のようなものになることを期待している。 そのあたりの記載がないように感じたため、市役所などを新しい形で活用する地域社会というのがあると、市民の期待感が非常に高まっていくのではないかと。	若狭委員	ご意見のうち新庁舎につきましては、情報ステーションやイベントスペースなど来庁者利用が想定される機能を1・2階に整備する予定です。	-
31	事前意見	地域社会	1	2	36	施策2 男女がともに自分らしく輝く社会の実現	女性の創業や学び直しの支援、また男性の育児・家事・介護への参画の促進が、なぜ「男女ともに自分らしく活躍できる環境」につながるのか、丁寧な説明が必要ではないか。  【理由】 パターンナリクティックな印象を受ける。 施策1で多様な性の話だが、施策2では固定的なジェンダーを前提としていることについて、違和感を覚える人がいるかもしれない。	菊地委員		
32	当日意見	地域社会	1	2	36	施策2 男女がともに自分らしく輝く社会の実現	施策1の「多様性を活かしたインクルーシブなまちづくりの推進」の次の施策に「男女」という言葉が出てくるのが気になる。 題目だけ見ると、多様性と言いながら、結局男女なのかという印象があり、少し前時代的なイメージを抱く。 全体会でも、この辺りの表現については意見が出たと思うため、少し文言の工夫をいただきたい。	貞広委員		【P36 分野5 政策1】 施策1 多様性を活かしたインクルーシブなまちづくりの推進  <リード文> ・年齢、 <u>性別</u> 、国籍、障害の有無、性的指向等に関わらず、それぞれ異なる立場の方々の方々の社会参画の推進に、 <u>分野を横断し、総合的・一体的に取り組むことにより、多様性を活かし、一人ひとりが自分らしく幅広い分野で活躍できる、</u> インクルーシブなまちづくりを推進します。
33	当日意見	地域社会	1	2	36	施策2 男女がともに自分らしく輝く社会の実現	施策2について、「男女が」、「女性の」、「男性の」という言葉を削った方が良いのではないかと。 貞広委員の意見同様、インクルーシブ、LGBTの次に記載されていることに違和感があり、性役割感があるように感じてしまうため、検討していただきたい。	岩崎部会長	該当施策においては、社会全体において固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みが存在している現状などを踏まえ、インクルーシブな社会の実現のため、今後も取り組むべき主要な課題として位置づけておりましたが、ご意見を踏まえ、政策1の構成を含め、検討します。	
34	当日意見	地域社会	1	2	36	施策2 男女がともに自分らしく輝く社会の実現	「男女がともに」という表現になっているが、単に男女としてしまうと、健常者の男女という誤解を生む可能性もあるので、性別で分けるのであれば、障害の有無や国籍についても触れた方が良いのではないかと。	添田委員		<主な取り組み> ・ <u>固定的な性別役割分担意識にとらわれない、働きやすい環境づくりや育児・家事などへの協働の促進</u> ・幅広い分野における <u>子ども・若者、高齢者、女性、外国人、障害者の</u> 活躍への支援(地域活動、文化芸術・スポーツ活動など) ・男女共同参画に関する一層の理解促進 ・ <u>LGBTへの理解促進</u> ・ <u>人権に関する教育や普及・啓発</u>
35	当日意見	地域社会	1	2	36	施策2 男女がともに自分らしく輝く社会の実現	「男女が」という部分については私も非常に気になっており、両委員のご指摘のとおりと思うが、一方では、まだ地域社会の中で女性の活躍の場がない実情もある。 自治会の組織を見ると、女性の割合が非常に低く、例えば防災の観点からしても、女性やお子さんを持ったお母さんの視点などが、なかなか取り入れられないのが現状である。 そのような状況であるため、まだまだ女性が活躍する場をもっと広げていかないと、社会は変わっていかないと思っている。	仙波委員		

第1回千葉市新基本計画審議会第2部会における意見への対応の方向性  
 (「健康・福祉」、「地域社会」)

No.	分類	分野	政策	施策	頁	該当箇所	意見及び対案	委員	対応の方向性	原案の修正案(たたき台)
36	当日意見	地域社会	1	3	37		外国人の方は、言葉の問題や、文化・習慣の違いだけではなく、一般の市民と同じようなことで困っている方もいる。そのような方々を取り残さないように、日本語教育や福祉の利用、または、就労や教育といったところで、しっかりとケアしていくことが必要である。 そのため、市内の様々な団体と連携しながら、対応していきたい。	柿沼委員	ご意見のとおり、外国人市民への対応にあたっては、関係する団体相互の連携も重要であると認識しており、施策3の主な取組みに「多文化共生を担う行政・関連団体の体制強化とネットワークの構築」を位置付けているところです。 具体的には、実施計画等において検討してまいります。	-
37	事前意見	地域社会	1	3	37	海外都市との交流	「姉妹都市との交流」について、現在では交流以上の協力や連携のステージとなっている取組みも多いため、「交流」にとどまっていたりよいか、再検討が必要ではないか。	菊地委員	ご指摘のとおり、海外都市との協力や連携は重要であると認識していますので、記述を検討します。	【P37 分野5 政策1 施策3 主な取組み】 ・海外都市との交流・ <u>連携など</u>
38	事前意見	地域社会	1	3	37	市民の国際感覚の醸成と国際理解の推進	「市民の国際感覚の醸成と国際理解の促進」は、「国際感覚」や「国際理解」と、「国」をベースとした内容となっており、相手「国」を理解するという意味にとどまる。 国や地域毎ではなく、国や地域に共通した課題の理解とその対処という「グローバル」という視点が抜け落ちてしまわないか。	菊地委員	ご意見のとおり、国や地域に共通した課題の理解とその対応という視点も重要であると認識しておりますので、記述を検討します。	【P37 分野5 政策1 施策3 主な取組み】 ・市民の国際感覚の醸成と <u>グローバルな視点の涵養</u>
39	当日意見	地域社会	2		38		多様な主体の連携によるまちづくりを進めていくことについて、若狭委員のご意見は非常に重要だと思っている。 また、和田委員のご意見が非常に印象的だったが、高齢者が増えても、老人クラブが活性化していないとのこと。やはり、次回の議題となるが、地域がどのように学校を支えるかということも含めて、都市化が進んでいる地域を持っている千葉市では、当事者意識を持って地域に関わることが十分にできないという課題があると思う。 そのような方々に主体的に関わっていただく、または、関わりたいと思った時に関わられるような仕組みをつくるというのは、都市を抱えているからこそその課題だと思う。 そのような仕掛けを書き込まないと、すべての方が当事者意識を持ち、主体となって地域に関わり、地域の発展を支えていくという形にはなり難いのではないか。	貞広委員	ご意見のとおり、市民が主体的に関わることや、まちづくりに参画しやすい仕組みづくりは重要な課題として認識しており、総論の「まちづくりを進める力」において、そのような視点を位置付けております。 また、現在におきましても、ちばレボやシェアリングエコノミーに係る取組みを通じて、市民の身近な部分からまちづくりに関わっていただいているところです。 ご意見を踏まえ、政策2のリード文の記述を検討するとともに、実施計画等において検討してまいります。	【P38 分野5 政策2 リード文】 人口減少社会でも持続可能なまちづくりの体制を構築するため、既存の役割分担に捉われない柔軟な連携を推進するとともに、市民一人ひとりが <u>主体的に</u> 学びの成果を地域の力に活かすことができるよう、学習機会の提供や社会活動への参加を推進します。



第1回千葉市新基本計画審議会第2部会における意見への対応の方向性  
 (「健康・福祉」、「地域社会」)

No.	分類	分野	政策	施策	頁	該当箇所	意見及び対案	委員	対応の方向性	原案の修正案(たたき台)
40	当日意見	地域社会	2	1	38		全て行政が税金を使ってやるのではなく、民間の創意工夫は非常にユニークで、なかなか行政では発想し難い部分も出せるのではないかと思います。行政と民間を上手く組み合わせる仕組みがあると、面白いものが生まれるのではないかと。	下河原委員	ご意見のとおり、まちづくりを進める上で、民間企業を含め、多様な主体との連携が重要であると認識しております。 当該視点については、地域社会をはじめ、すべての分野に共通することから、総論において記述を検討します。 なお、本市においては、民間企業等からの行政課題や地域課題の解決に向けた提案・相談の受け付け、関係部局との調整、各種サポート、市からの情報発信等を一元的に行う、「コネクテッドセンターちば(民間提案総合窓口)」を設けております。	【総論P65 第4章 5 4パラ】 ・また、多様な主体が、地域の課題を「自分事」と捉え、 <u>互いにアイデアを出し合いながら</u> 主体的に課題解決に挑戦できる環境を整備し、まちづくりに参加したくなるきっかけをつくるとともに、その調整役としての役割を行政が担うほか、市民の目線に立ち、地域活動等に取り組む職員を育成します。
41	当日意見	地域社会	2	1	38		様々な課題について、行政が主導するのではなく、様々な団体を繋ぐことで解決する問題が相当あると思う。 一方、周りで活動している団体が分からないので、行政が間に入り、繋げることが必要ではないかと。それが正に、地域社会で、みんなで作る千葉市に繋がっていくのではないかとと思うので、そのような取組みを期待したい。	小川委員		
42	当日意見	地域社会	2	1	38		地域社会を支えている基本の部分は、町内自治会だと思っている。 農村地帯や古い町に行くと、自治会は必ずあるが、最近、美浜区のURの賃貸住宅や新しい民間のマンションなどでは、自治会が組織されない事例もある。 自治会は任意団体だが、地域に関わる問題や課題はほとんどが自治会を通して降りてくるので、自治会がないと、地域の様々な活動に影響が出てくる状況になる。 自治会がないところに、どのように必要性を認識してもらい、構築していくのかというのは、大きな課題だと考えている。 自治会は地域に関係している全てに責任を持つ団体であると思うので、検討いただきたい。	長岡副部長	ご意見のとおり、町内自治会は地域に根差した地縁団体であることから、町内自治会の加入・結成の促進に向けた取組みは重要であると認識しております。 これまでも取り組んでおりますが、ご意見を踏まえて記述を検討するとともに、引き続き、実施してまいります。	【P38 分野5 政策2 リード文】 人口減少を始めとした様々な課題が存在する中でも、 <u>地域の担い手を確保し、持続可能なまちづくりの体制を構築するため、町内自治会や市民活動団体、事業者など多様な主体が関わる地域コミュニティの育成支援に加え、既存の役割分担に捉われない柔軟な連携を推進します。また、市民一人ひとりが～</u>  【P38 分野5 政策2 施策1】 ＜リード文＞ ・ <u>地域活動のデジタル化の推進や活動の場の充実、担い手の育成などを通じて、地域の実情に応じたプラットフォームを構築するとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるレガシーの一つである、ボランティア文化の継承・発展を図り、市民自治の基盤を強化します。</u> ・ <u>大学や民間企業、ボランティアなど多様な主体の連携により、活発な活動・交流が図られる、持続可能なまちづくりを進めます。</u>  ＜主な取組み＞ ・ <u>地域運営委員会の設立支援</u> ・多様な主体の連携を促進するプラットフォームの構築 ～
43	当日意見	地域社会	2	1	38		自治会の方には、地域での見守り活動や、登下校の時間のセーフティーウォッチャーなどご協力いただき、非常にありがたく思っている。 また、施策に対しては、これからの未来を切り拓いていく子どもたちに向けた言葉を強く入れていただきたいと思う。	江波戸委員	子ども達に向けた取組みについては、「子ども・教育」の議論を踏まえ、検討します。 なお、子ども達に向けた言葉については、計画書を作成する段階において、子ども達への周知・啓発の方法と併せて検討してまいります。	-